

各地域ごとに県民の皆さまのご意見に特徴が見られました

<第4回調査結果に見る地域ごとの特徴>

※「重視度と満足度の差」が25以上の政策を地域ごとに抜粋している。
※網かけの政策は、回答者全体の「重視度と満足度の差」と比べて各地域にお住まいの方の差がより大きい政策。

栗原地域

政策	重視度(点)	満足度(点)	差(点)
どこに住んでいても必要な医療や保健サービスが受けられる環境づくり	80	55	25

登米地域

政策	重視度(点)	満足度(点)	差(点)
地球環境の保全	80	50	30
雇用の安定と勤労者福祉の充実	80	50	30
県土の保全と災害に強い地域づくり	80	60	25

大崎地域

政策	重視度(点)	満足度(点)	差(点)
雇用の安定と勤労者福祉の充実	80	50	30
県土の保全と災害に強い地域づくり	88.5	60	28.5

仙台地域

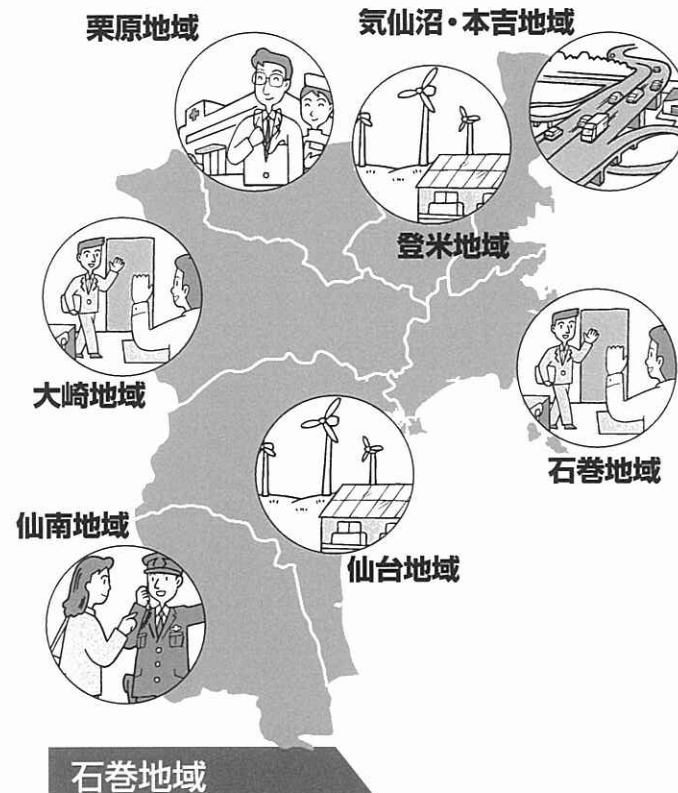
政策	重視度(点)	満足度(点)	差(点)
県土の保全と災害に強い地域づくり	90	60	30
地球環境の保全	80	50	30
どこに住んでいても必要な医療や保健サービスが受けられる環境づくり	80	55	25
県民が安心して安全な生活を送るための環境づくり	85	60	25
雇用の安定と勤労者福祉の充実	80	55	25

仙南地域

政策	重視度(点)	満足度(点)	差(点)
県土の保全と災害に強い地域づくり	90	60	30
県民が安心して安全な生活を送るための環境づくり	90	60	30
地球環境の保全	80	50	30

気仙沼・本吉地域

政策	重視度(点)	満足度(点)	差(点)
雇用の安定と勤労者福祉の充実	85	50	35
どこに住んでいても必要な医療や保健サービスが受けられる環境づくり	80	50	30
県土の保全と災害に強い地域づくり	90	60	30
県民が安心して安全な生活を送るための環境づくり	85	60	25
産業基盤の整備による生産力の強化	80	55	25
分権社会の形成	75	50	25
国内の交流を進めるための交通基盤の整備	80	55	25



石巻地域

政策	重視度(点)	満足度(点)	差(点)
雇用の安定と勤労者福祉の充実	90	50	40
県土の保全と災害に強い地域づくり	90	60	30
地球環境の保全	80	50	30
県民が安心して安全な生活を送るための環境づくり	87	60	27
どこに住んでいても必要な医療や保健サービスが受けられる環境づくり	80	55	25

調査結果は、県が行政評価を行う際に、重要な情報として取り扱われるとともに、今後の政策・施策の企画立案に活用されます。

このパンフレットについてのお問い合わせは

企画部行政評価室

022-211-2406

E-mail : g-hyoka@pref.miyagi.jp

※行政評価室のホームページで行政評価の詳しい内容をご覧になれます。

ホームページアドレス <http://www.pref.miyagi.jp/hyoka>



今までの県民満足度調査の結果と反映の状況をお知らせします。

昨年度実施した第4回県民満足度調査の結果をお知らせします。

- ◆実施期間：平成17年1月13日から平成17年1月31日まで
- ◆調査対象者：県内在住の満20歳以上の男女4,000人の皆さま
- ◆回答者数：1,727人（回答率43.2%）
- ◆調査項目：県の仕事（「政策」や「施策」）に対する認知度、重視度、満足度など
- ◆調査結果：県民の皆さまが重要と考え、今後に期待している政策などが明らかになりました。また、地域ごとに特徴があることも明らかになりました。

県民の皆さまが特に重要と考え、今後に期待している政策

※重視度と満足度の差が大きい順に並べた場合の上位5政策（回答者全体）

政策	重視度(点)	満足度(点)	差(点)
県土の保全と災害に強い地域づくり	90	60	30
雇用の安定と勤労者福祉の充実	80	50	30
県民が安心して安全な生活を送るための環境づくり	85	60	25
地球環境の保全	80	55	25
どこに住んでいても必要な医療や保健サービスが受けられる環境づくり	80	59	21

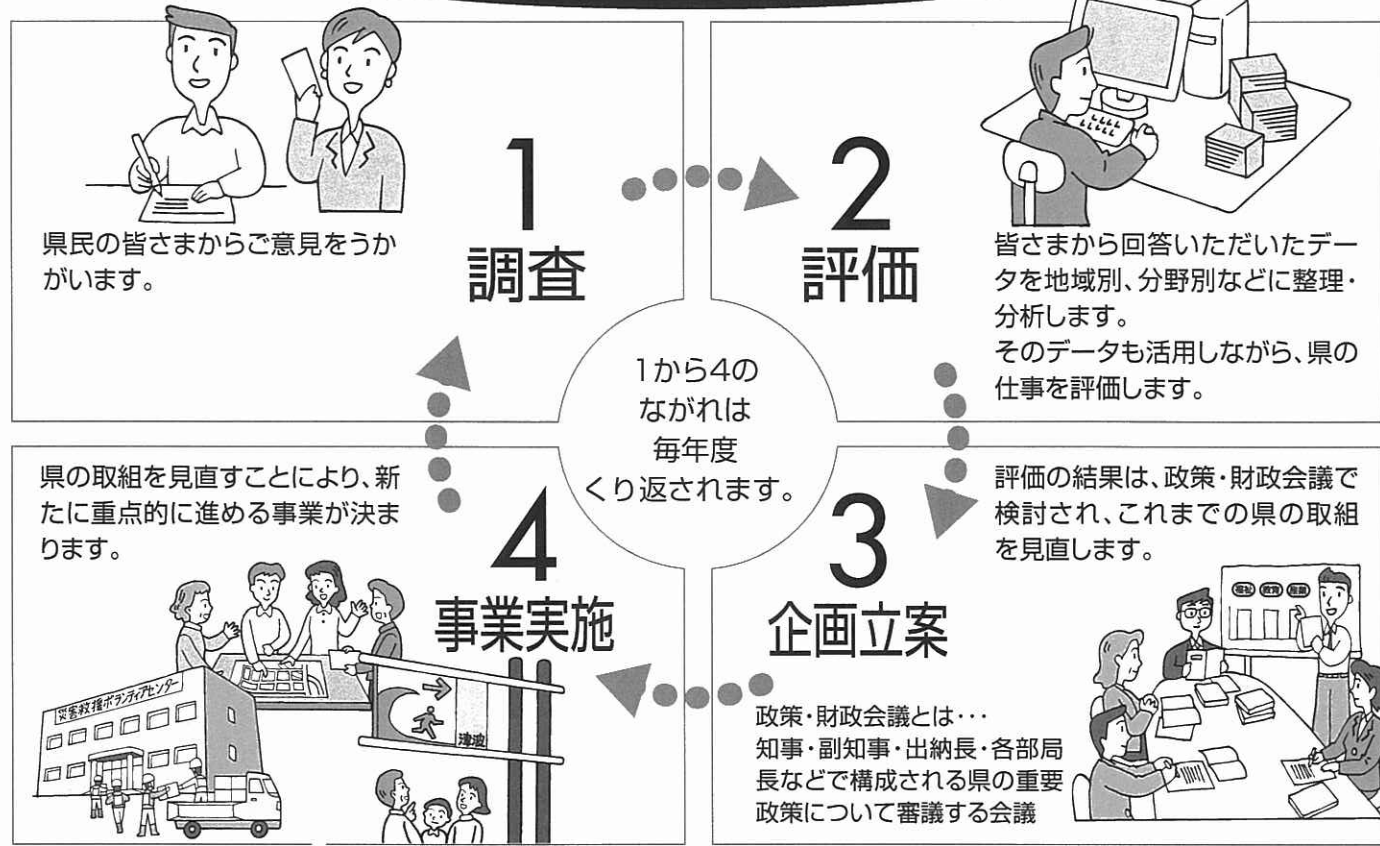


平成18年2月
宮城県

県民満足度調査の結果はこのように活用されています。

皆さまからいただいたご意見も
県の事業見直しなどに活用され、具体的な
事業に結びついてゆきます。

調査結果の活用のながれ



県民の皆さまのご意見を活用した事例

1 調査



目的「県土の保全と災害に強い地域づくり」

満足度調査結果数値の動き			
	第1回	第2回	第3回
重視度	80.0	80.0	85.0
満足度	60.0	60.0	60.0

ここに注目しました

第2回から第3回にかけて、重視度が大きく上昇しました。

2 評価



特に

- ◆ 震災対策の推進
- ◆ 地域ぐるみの防災体制整備

などを優先すべきと考える方が多いことがわかりました。

3 企画立案



県はこのように考えました

この目的は人命や財産の安全に直結するものであり、取り組みの緊急性も高いと判断しました。

また、目的の実現のためには、防災施設の整備をおし進めることとあわせて、平常時から災害に備えることの重要性についての啓発活動や、避難対策を行うことが重要と考えています。

4 事業実施

今年度は「宮城県沖地震の再来に備えた取り組み」を進めてきました

取り組みの3つの柱

- 1 地域防災力の向上
- 2 円滑な災害対策活動への備え
- 3 地震に強いまちづくりの推進

1 地域防災力の向上

～「自分の身は自分で守る」の意識と、災害発生へのふだんからの備え～

- 地震や津波への備えや発生時にとるべき行動などの防災知識に関する出前講座
- 地域住民参加による防災マップの作成支援など



2

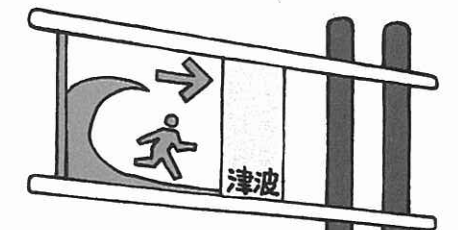
円滑な災害対策活動への備え



- 地震・大雨などの防災気象・被害情報を収集、関係機関に伝達、共有化することで、被害拡大を防止するためのシステムづくり(平成18年度～新システムが稼働)
- 災害時に県内外からのボランティアを受け入れ、助けを必要とする箇所に適切に配置し、安全に活動してもらうための体制整備
- 災害時の医療救護活動をスムーズに行えるよう、病院間の緊急情報連絡システムなどを整備する場合の補助
- 電子メール、インターネットなどを通じ、外国人の方々に多言語で防災情報を提供するシステムづくりなど

3

地震に強いまちづくりの推進



- 一般木造住宅の耐震診断に関する情報提供、耐震診断士の派遣
- 県立各種施設の耐震補強工事、学校・病院・社会福祉施設などの耐震診断・耐震補強工事への補助
- 災害時の物資輸送路にあたる橋の耐震補強工事
- 津波が発生した場合に素早く対応するための防潮水門の改良
- 津波の発生時に素早く避難するための避難誘導看板の設置と市町への設置補助など



県民満足度調査は、県民の皆さまと県がコミュニケーションしながら県政を進める住民参加の新しい方法の一つです。